

# 青風

あ お

## 県政活動報告

新潟県議会議員

青柳まさし 創刊



### 新潟県議会2013年2月定例会報告

新潟県議会2月定例会が2月25日から3月27日まで開会され、平成25年度予算が成立。対前年度比6.2%減、総額約1兆2,586億円の一般会計予算が可決されました。また本議会において、議員から約450件の質問が行われました。自由民主党の青柳まさし議員は3月5日(火)に一般質問をし、

- 1 再生可能エネルギーについて
- 2 極東ロシア訪問関連について
- 3 新潟東港関連について
- 4 林業振興について
- 5 新産業振興について
- 6 米粉の需要拡大について

の6項目について、泉田知事および関係部局長に答弁いただきました。その一部を抜粋しご報告します。



#### 1 再生可能エネルギーについて

**Q** 大規模な太陽光発電事業の候補地として公表している、いわゆる「11町歩」の活用の見通しについて伺いたい。

答弁要旨

メガソーラー発電事業の実施を検討している複数の民間企業から、土地の形状や土地利用上の法規制等について照会を受けており、一部企業では具体的な事業計画の検討に着手している。県有地に関連する地元との理解を得ながら、早い段階で公募等の手続きに入れるよう準備していきたい。

**Q** 新潟競馬場跡地が好立地であることを生かし、新たに設置される太陽光発電所に啓発施設を併設してはどうかと考えるが所見を伺う。

答弁要旨

太陽光発電の啓発施設について、すでに新潟雪国型メガソーラー発電所に設置されているが、仮称・新潟競馬場跡地太陽光発電所においても、見学者等が見込まれることから、新潟東部太陽光発電所と同程度の啓発設備の設置を検討したい。



新潟東部太陽光発電所

**Q** 国で研究が進められていた下水熱を利用するシステムを県でも考えられないか。

答弁要旨

下水熱利用については、今年度から大阪府で実証研究が行われており、さまざまな課題の検証を行っている。県としては、この実証研究の成果を注視するとともに、さらなる技術の進展等について情報収集に努めていきたい。

#### 2 極東ロシア訪問関連

**Q** 極東ロシアへのビジネス展開の可能性についてどのように考えているか。現時点において日本海横断パイプライン構想の実現性をどのように考えているか。

答弁要旨

ロシアではエネルギー分野の開発が進んでいる。一方、日本においては、原発停止による天然ガス需要の増大や、エネルギー安全保障の面から、中東以外の調達先を確保する必要性に迫られている。本県は、すでに首都圏等への国内ガスパイプラインによる広域的供給基地であり、通常、LNGでの輸送よりパイプラインの方がコストダウンが可能と言われていることから、日本海横断パイプライン構想として、研究機関など外部専門家を活用しながら、その可能性に関する課題抽出や方策の調査研究を進めたい。

**Q** 極東ロシアへの下水道などインフラ整備に関する技術提供の可能性は考えられないか。

答弁要旨

極東ロシアへのインフラ整備に関する技術提供については、今後も整備が見込まれるエネルギー開発関連インフラについては

現地の状況やニーズを調査し、具体的なビジネス交流の可能性を探る。生活環境インフラについては、ロシア側からの具体的な要望があれば、県対外科学技術協会等の関係機関と連携し、双方が利益を享受できるような協力の可能性を検討していきたい。

#### 3 新潟東港について

**Q** ロシアとの経済効果を引き寄せるためにもウラジオ直航航路を有する必要はないか。

答弁要旨

航路の充実に努めることが望ましいが、航路開設には安全運航に繋がる貨物の確保が課題であり、輸送ニーズを掘り起こす必要がある。ウラジオ直航航路の貨物の動向を分析しながら、コンテナ貨物等の確保を図り、日本海横断航路の活用も含めたロシア航路の充実や、直行便の開設に努めていきたい。



**Q** 新潟東港コンテナターミナルが民営化をひかえているが、荷主の信頼を得るためにも冬の除雪が重要。今冬支障が発生した原因と対策は?

答弁要旨

当施設の除雪は、基本的には利用者である港運会社が実施すべきものと考えて



4 林業振興について



**Q** 林業振興のためにも木質バイオマス発電は有益と考えるが、その効果と課題をどのように考えているか。

**Q** 新潟東港鉄道整備(オランダ・ドッグ・レール)実現に向けた課題と今後のスケジュールについて伺う。

**答弁要旨**  
平成22年に策定した「日本海側拠点港湾としての新潟港の将来ビジョン」に鉄道輸送へのモーターシフトを盛り込み検討を進めてきた。現段階では、十分な集荷と必要な施設の整備が課題。集荷については潜在荷主へ更に働きかけ、運行委託を想定するJR貨物との運行条件の調整などに取り組んでいく。施設整備については、国との役割分担・スケジュール調整を進め、来年度は事業実施に向けた調査を行っていききたい。

**答弁要旨**  
いるが、昨年の豪雪を受け、県としても消雪パイプの設置や融雪剤の支援などに取り組んでいる。今冬は、ヤードの拡張や除雪人員の確保から、1時間以上のオープン遅延が2月末現在で11日発生した。今後も関係者と連携し除雪開始時間の前倒しや、消雪パイプの設置拡大などの対策を進めたいと考えている。

5 新産業振興について



**Q** 小型モビリティ分野への県内企業の参入を指すための経費を計上しているが、現状と課題は?

**答弁要旨**  
自動車メーカー等が開発・生産に取り組んでいるが、需要が読めない中で量産に

**Q** 林業就業希望者に対する支援策について、具体的な内容と、その周知・啓発をどのように行っているか。

**答弁要旨**  
若年層を中心とした新規就業者を確保するため、若者向けのPR誌やホームページなどで啓発活動を行っている。また興味を持った方々には、労働力確保支援センターや林業普及指導員が情報提供と相談に応じている。就業希望者には関係団体と提携し、資格取得や就業体験等を支援するなどの対策を講じている。

**答弁要旨**  
森林資源の有効活用や地球温暖化防止などの効果に加え、木質バイオマス発電で得られる資金を地域の振興に活用することにより、都市部と山村地域を相互補完し、それぞれの地域の特徴を生かした均衡ある発展のモデルとなる可能性もある。一方で、大量の燃料が必要となることから、森林を適切に維持管理しつつ燃料を安定的に供給する仕組みづくりが課題である。

6 米粉の需要拡大

**Q** 県では、米粉の需要拡大に向けて取り組んできたが、県産米粉用米の生産量について伺う。

**答弁要旨**  
平成24年産の本県の米粉用米生産量は、13,073トンで前年より9%減少した。なお全国的に生産量が減少したため、本県産のシェアは2ポイント伸び、38%となっている。

**Q** 米粉の需要拡大のためには他地域への販路拡大も重要だと思うが、今後、どのような戦略をもって対応していくか。

**答弁要旨**  
さらなる需要拡大には、加工コスト低減による価格の引き下げが不可欠だ。固定費低減に向けた施設整備支援のほか、大口需要の開拓や、実需者の利便性の向上を引き続き支援するとともに、新たな分野での需要の創出や、抜本的な米粉需要の拡大につながる取り組みを行っていく。



本会議で質問する青柳まさし議員

活動報告

2月例会では取り上げませんでしたが、青柳まさしが常に重要課題としているのが、新潟空港周辺地域における騒音問題、そして農林水産の活性化。2012年度の県議会で数回にわたり質問を行ってきました。

新潟空港問題



新潟空港の新たなネットワーク構築は本県にとって重要な拠点戦略の一つ。しかし同時に周辺住民の騒音対応も重要です。

質問 Pick Up

- 将来の新潟空港のあり方について運用時間の延長や騒音対策をどう考えているのか?
- 沖合展開に向けてどのように調整されるか?
- 新潟空港の騒音対策区域の見直しが行われた場合、現行の県の独自支援も見直すのか?

農業水産の活性化について



国内外で都市間競争が激化する中、本県産品の生産拡大、販売ルート拡大、確保への取り組みが重要です。特に県産農産品のブランド化を強化すべきと考えています。

質問 Pick Up

- 基準を満たしたコメの有利販売はブランド化を図るうえで重要だが、基準に満たないコメの流通ルート確保の取り組みは?
- コメ生産からの転換作物として北区のトマトなど、各地で農業者が取り組んでいる。コメだけでなく園芸振興の取り組みも推進すべきだ。新たな機械・施設の整備や栽培技術の習得について県としてどう取り組んでいるか?

お気軽にお立ち寄りください!!

青柳まさし 事務所

〒950-3325 新潟市北区白新町3丁目9-9 <http://m-aoyagi.net/>

電話: 025-386-8682 ファクシミリ: 025-386-8704

青柳まさし

検索

現所属委員会/  
総務文教委員会 副委員長、  
総合交通・防災対策特別委員会